




PHC  
GROUP



わたしたちは、たゆみない努力で  
健康を願うすべての人々に新たな価値を創造し  
豊かな社会づくりに貢献します

# PHC GROUP

---

精緻な技術でヘルスケアの未来を切り拓くリーダーとなる



PHCグループは、人生においてかけがえのない「ヘルスケア」の分野に、多方面から取り組んでいます。これまで50年以上にわたり、疾病の研究、診断、治療、予防につながる革新的な製品・サービスを提供してまいりました。当社グループは、世界125以上の国と地域で事業を展開し、「ヘルスケアの未来」を見据えた精緻な技術の提供に日々邁進しております。我々は「One PHC」を標榜し、グループ内の事業間連携による新しい発想やシナジーを生かしながら、ヘルスケアジャーニーにおける各タッチポイントで患者さんや医療従事者へ価値をもたらし、豊かな社会づくりに貢献します。

- 糖尿病マネジメントドメイン：アセンシア ダイアベティスケアは、糖尿病をお持ちの方がご自身の血糖状態をスムーズに把握できるよう、最先端のモニタリング技術を提供しております。現在、当社の血糖値測定（BGM）システムは、世界中で約1,000万人の治療にご利用を頂いています。
- ヘルスケアソリューションドメイン：デジタルの活用で医療業務の効率化を推進し、臨床検査を通じて医療の発展に貢献しています。ウィーメックスは、病院・診療所向け医事コンピューターや診療所向け電子カルテシステムで国内シェア1位を誇り、また、遠隔医療の支援や医療データを活用した医療DXを推進しています。LSIメディエンスは、検査分析技術を基盤とするがん診断や遺伝子検査などの臨床検査を展開し、メディフォードは、創薬の基礎研究から臨床試験までの幅広い研究開発をサポートしています。
- 診断・ライフサイエンスドメイン：この領域では疾患の早期発見と治療に貢献しています。エプレディアは研究ラボのワークフローを改善し、より効率的で正確な判断を支援する製品とデジタル技術によって精緻ながん診断ソリューションを提供しています。PHCの超低温フリーザーは国内外で多くの受賞歴があり、業界を先導する省エネルギー性能で研究ラボの支援を行っています。また、高精度な診断試薬やコンパクトなPOCT（Point Of Care Testing：簡易迅速検査器）は、医療現場でのリアルタイム検査に貢献しています。

PHCグループを代表して、当社にご関心をお寄せいただきお礼申し上げます。当グループでは「精緻な技術でヘルスケアの未来を切り拓くリーダーとなる」というビジョンを2024年に掲げました。グループ全体の強みであるヘルスケア領域におけるタッチポイントの多さを存分に生かし、グループ内連携を通じてシナジーを創出していきます。そして、「ヘルスケアの未来」に向けて今後も、革新的で精緻な製品・サービスの提供と社会課題の解決を通じ、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

## 出口 恭子

代表取締役社長CEO  
PHCホールディングス株式会社

出口 恭子



# PHCグループのDNA

PHCグループは、プレジジョンとデジタル技術により、人々のより良い健康を支えます。お客様の信頼を得る数々のブランドを基盤とし、革新性と精緻な技術力を強みとします。糖尿病マネジメント、ヘルスケアソリューション、診断・ライフサイエンスにおいてベストインクラスのソリューションを提供し、豊かな社会づくりに貢献しています。

これまで培ってきた起業家精神を発揮し、オープンマインドで粘り強く、たゆまぬ努力を重ね、お客様のニーズにお応えします。また、コンプライアンスを徹底し、誠実に事業活動を遂行することに努め、日々品質向上に取り組んでいます。そのためには、相互に連携しお互いを尊重しあえる環境を築き、そこに透明性が担保されていることが重要であると考えています。

PHCグループは、革新的な製品やサービスをいかに生み出すかを、常に探求しています。今後もイノベーションを通じて新たな価値を創造し、ヘルスケアの未来を切り拓いていきます。



1969

松下寿電子工業株式会社として設立

2010

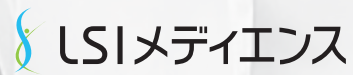
パナソニックヘルスケア株式会社に社名変更

2012

三洋電機株式会社のヘルスケア事業部門をパナソニックヘルスケア株式会社に統合

2014

パナソニックグループよりカーブアウトし、パナソニックヘルスケアホールディングス株式会社として事業開始



2016

Bayer AGより糖尿病  
ケア事業を買収・統合  
アセンシア ダイア  
ベティスケアに  
社名変更

2018

パナソニック  
ヘルスケアから  
PHCにコーポレート  
ブランドを変更

2019

Thermo Fisher Scientific,  
Inc.より病理事業を買収・  
統合  
エプレディアに社名変更

2019

株式会社生命科学  
インスティテュート  
から株式会社LSI  
メディエンスの  
全株式を取得

2021

PHCホールディングス  
株式会社が東京証券  
取引所 市場第一部へ  
上場\*

\* 2021年10月14日に新規上場  
(証券コード 6523 東証プライム)

2023

PHCホールディングス  
株式会社傘下にて  
ウィーメックス株式会社\*  
が事業開始

\* PHC株式会社メディコム事業部  
とPHCメディコム株式会社を統合

PHCホールディングス  
株式会社傘下にて  
メディフォード株式会社\*  
が事業開始

\* 株式会社LSIメディエンス治験  
事業の吸収分割による株式会社  
LSIM安全科学研究所 (LSSI) への  
承継、PHCホールディングス株式  
会社によるLSSIの子会社化



# PHCグループの グローバルネットワーク

PHCグループは、世界各地に拠点を置き、125以上の国と地域で事業を展開しています。ステークホルダーの皆さんの声にしっかりと耳を傾け、医療従事者や研究者、患者の皆さんに新たな価値をお届けできるよう努めています。

PHCホールディングス株式会社  
〒100-8403 東京都千代田区有楽町1丁目13番2号  
第一生命日比谷ファースト15F

## 主なグループ企業:

PHC株式会社  
〒100-8403 東京都千代田区有楽町1丁目13番2号  
第一生命日比谷ファースト15F

アセンシア ダイアベティスケアホールディングス  
Peter Merian-Strasse 90, 4052 Basel,  
Switzerland

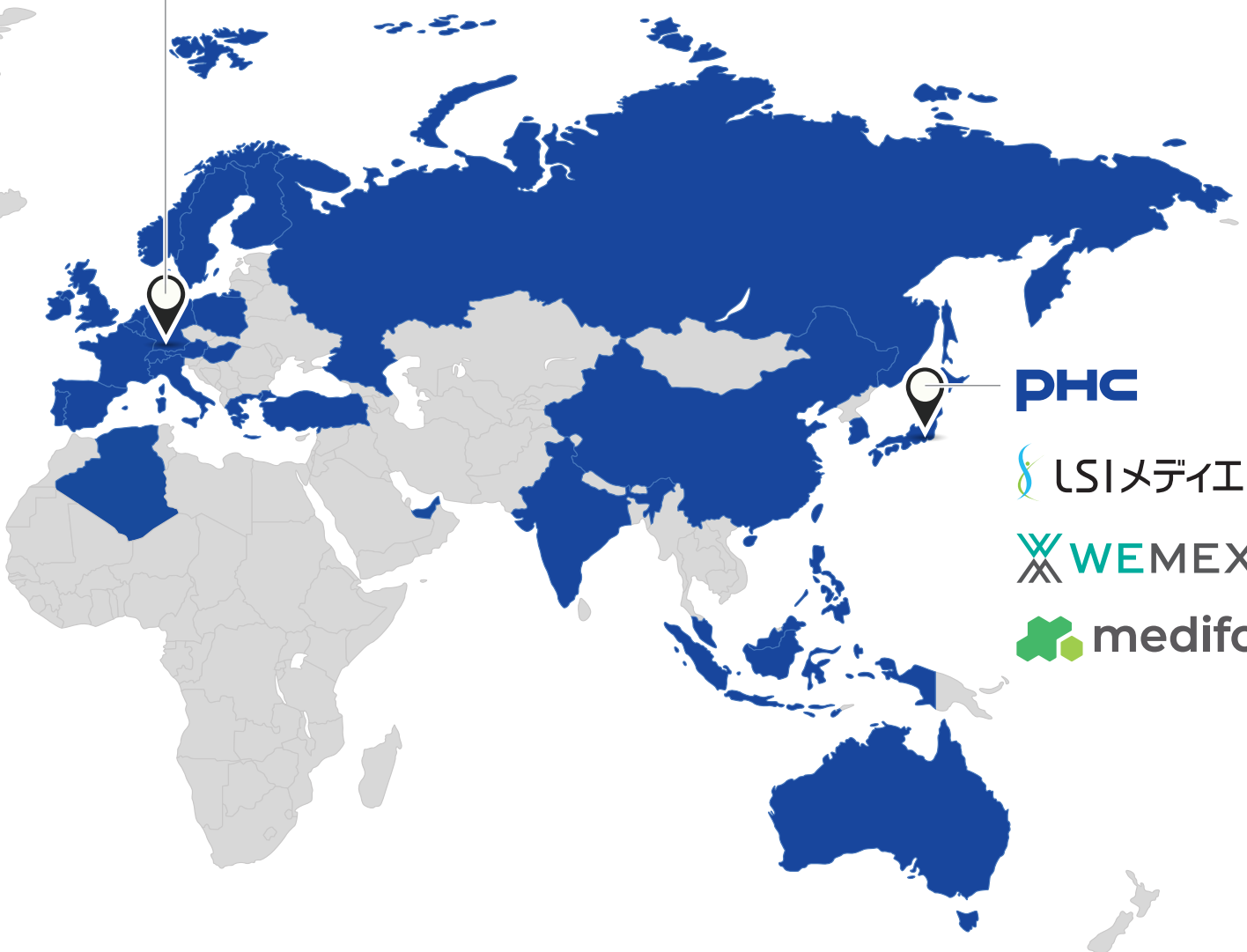
New Erie Scientific LLC  
エプレディアホールディングス子会社  
20 Post Road, Portsmouth, NH, 03801 USA

株式会社LSIメディエンス  
〒174-8555 東京都板橋区志村3丁目30番1号

ウィーメックス株式会社  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目25番18号  
NBF渋谷ガーデンフロント14F

メディフォード株式会社  
〒174-0053 東京都板橋区清水町36番1号





### アジア + オセアニア

- |         |    |       |
|---------|----|-------|
| オーストラリア | 日本 | インド   |
| インドネシア  | 台湾 | マレーシア |
| シンガポール  | 香港 | フィリピン |
| 中国      | 韓国 |       |

### ヨーロッパ

- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| オーストリア | イタリア   | イギリス  |
| ハンガリー  | スウェーデン | ドイツ   |
| ロシア    | フィンランド | ポーランド |
| ベルギー   | オランダ   | ギリシャ  |
| アイルランド | スイス    | ポルトガル |
| スペイン   | フランス   |       |
| デンマーク  | ノルウェー  |       |

### 中東 + アフリカ

- |        |     |     |
|--------|-----|-----|
| アルジェリア | UAE | トルコ |
|--------|-----|-----|

### 南北アメリカ

- |         |      |     |
|---------|------|-----|
| アメリカ合衆国 | メキシコ | カナダ |
|---------|------|-----|

\* 一部の製品やサービスは、国によって提供されていない  
可能性があります



## シナジーによる グループの強さ



グローバルな医療課題に取り組み、イノベーションを通じた新たな価値の創造を目指し、PHCグループの各事業は個々に、そして協力し合いながら研究から、診断・治療、検査・予防まで幅広い分野の進展を支えています。



# 糖尿病マネジメント

高精度な血糖値測定 (BGM) システムやシームレスなデータ連携、デジタル糖尿病管理ソリューションにより、糖尿病患者さんのQOL (生活の質) 向上に貢献します。

# ヘルスケアソリューション

医療ITから臨床検査、創薬支援サービスまで、幅広くサービス・ソリューションを提供することで、患者さんや医療従事者の皆さんを支援するヘルスケアサービスの充実を目指します。

# 診断・ライフサイエンス

がんをはじめとした疾病のよりの確な診断を実現する高精度で包括的なソリューションを提供しています。新しい治療法や新薬の開発を目指した先駆的なライフサイエンス研究を支援する製品を通じ、患者さんの生活を支え、より健康な社会づくりに貢献します。





## 糖尿病管理における先進的な技術で、 患者さんのより快適な生活をサポート

アセンシア ダイアベティスケアは、糖尿病を持つ方々が抱える生活の難しさについて理解を深めてきました。私たちの製品をご利用になる患者さんのニーズに応え、精度の高い測定機器や一人ひとりの病状にあわせたソリューションを開発するなど、改善を重ねることで、患者さんの糖尿病管理を支えています。

糖尿病の発症増加に伴い、早期の診断と可能な限りの予防と効果的な治療の重要性がますます高まっています。患者さんや医療従事者を高精度な測定機器で支え、より効率的な病状管理と患者さんの生活の質向上に貢献します。

## 血糖値測定システム

### 高精度かつ迅速なモニタリング

私たちの血糖値測定(BGM)システムは、その極めて高い精度\*1と利便性で、患者さんが血糖値測定を日々の生活に効果的に取り入れ、ご自身の状態をより的確に把握できるようサポートします。これからも、新製品・機能の開発に取り組んでいきます。

### 高精度な測定結果

先進的な自社技術により、リアルタイム測定を実現。

### 卓越した技術

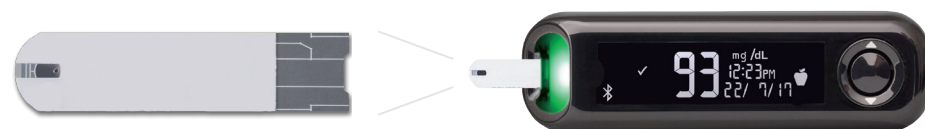
優れたモノづくり技術による高品質な製品。

### グローバル展開

100以上の国と地域で製品を販売し、約1000万人の患者さんに提供。

\*1 具体的な精度については、BGM製品のユーザーガイドをご覧ください。

Ascensia およびAscensia Diabetes Careのロゴは、Ascensia Diabetes Care Holdingsの商標及び/又は登録商標です。その他の商標は、各所有者の知的資産であり、情報提供のみを目的として使用されています。いかなる関連又は推奨を示唆・暗示しているものではありません。





## 糖尿病管理アプリケーション

ワイヤレス通信及びケーブル接続でデータ連携する糖尿病管理ソリューションを実現

### データ連携

ワイヤレス対応の血糖自己測定システム\*2と連携し、糖尿病アプリケーションとデジタルソリューションで血糖値を読み取ります。

### データ解析の向上

測定値の収集と保存、表示、分析により血糖値変動のトレンドを明らかにし、データから示唆を導き患者さんをサポートします。

### データ駆動型機能

患者さんの健康に影響する血糖値の変動パターンを特定し、アドバイスをを行います。

### クラウド活用

複数のデバイス間でデータを同期し、血糖値データ及びレポートを安全に保存するほか、医療従事者との共有が可能です。AndroidとiOSデバイスでアプリケーションをダウンロードでき、その他にはオンラインやパートナー企業を通じて利用できるソリューションもあります。

\*2 グローバル取り扱い製品。



## OEMパートナーシップ

PHC株式会社は、OEMとして日本国内の協業パートナーと共に、糖尿病をお持ちの方への効果的な治療をサポート



血糖自己測定システム  
納入先：アークレイ株式会社



病院/診療所用血糖値測定システム  
納入先：株式会社三和化学研究所



採血用穿刺器具/専用採血針  
納入先：株式会社三和化学研究所



# LSIメディエンス

未来のヘルスケアを切り拓くために、  
確かな分析技術で研究者や医療機関の  
皆さんをサポート

LSIメディエンスは、国内市場を中心にメディカルとサイエンスを融合したヘルスケアサービスを提供しています。遺伝子検査やがん診断を含む臨床検査を通じて、病気の予防、早期発見、効果的な治療の実現に向けて努めています。私たちはメディカルサイエンスの力によって健康で安心な社会の創造に貢献します。

私たちの最大の強みは「分析力」です。蓄積された膨大な検査データを解析し、検査結果を提供するだけでなく、そのデータが意味する「病状」や「薬効」を読み解き、医師や研究者の皆さんに提案します。こうした取り組みを通じて、より迅速で的確な診断や、検査業務の最適化に貢献します。



## ドーピング検査

最新の機器と先進的な分析方法を用いてドーピング検査における検体分析を実施

私たちのアンチドーピングラボラトリーは1985年に、検査分析機関としてアジアで初めて国際オリンピック委員会 (IOC) から認証されました。1999年の世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) 設立以来、私たちは国内唯一のWADA認定機関であるWADA東京ラボラトリーとしてグローバルなアンチ・ドーピング活動を推進し、スポーツの健全な発展に貢献しています。



## 臨床検査

病気の予防や早期発見に向けた多様な検査を提供し、医療機関をサポート

LSIメディエンスの臨床検査事業は、国内で業界トップクラスの規模を誇ります。私たちが構築したラボオートメーション・システムは、“より正確に、より迅速に”という高度な臨床検査ニーズに対応する様々なサービスを提供しています。

### 多様な検査ポートフォリオ

生化学、血液学、免疫学、生物学、遺伝子学を含む4,000種類以上の多種多様な検査項目

### 大規模なプラットフォーム

全国に営業拠点網を有し、長年にわたる実績により大学病院からクリニックまで病院全般、行政機関等のお客さまとの強固な信頼関係

### 高品質な検査

臨床検査室を運営するための国際規格ISO 15189及び米国臨床病理医協会 (CAP) の認定を取得

### 先進的な取り組み

遺伝子解析・質量分析における高い技術力



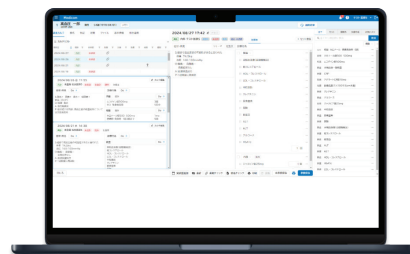
## 医療従事者の負担軽減と 業務効率化により 医療サービスの質の向上に貢献

1972年に日本初のレセプトコンピュータを発売して以来、私たちは医療ITや先進的なデジタルソリューションを通じて医療や福祉に貢献し、皆さんの健康を支えてきました。ウィーメックスは、これまで培ってきた経験と知識を活かし、さらに医療DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進することで、全国のクリニックや病院、歯科クリニック、薬局の皆さんに最先端の医療ITソリューションを提供します。

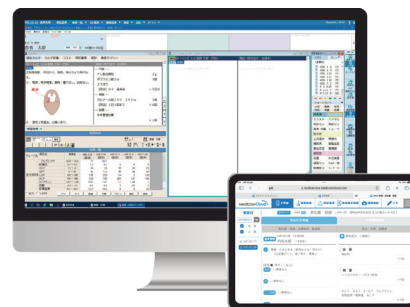
地域医療連携におけるデジタル化の進展およびクラウドやAIを活用した医療の質の向上に伴い、医療ITへのニーズは高まっています。医療分野の様々な課題を解決するために、私たちは患者・医師・薬剤師の皆さんを繋げる地域医療連携のソリューションを展開し、次世代医療のプラットフォームになることを目指します。

また、ウィーメックスは、2025年10月に、ウィーメックスヘルスケアシステムズ株式会社を統合しました。それぞれが持つ事業・技術・顧客基盤を融合させ、シナジーの創出と競争力のある強固な組織体制を構築することで、日本の医療DX推進に一層貢献してまいります。

## ■ クリニック領域



### Medicom クラウドカルテ



medicom-HR Hybrid Cloud

### クラウド型電子カルテ

オンプレの使いやすさを、完全クラウドで実現

シンプルなUIでスピーディーなカルテ入力を実現したレセコン一体型電子カルテシステム。独自の算定・会計漏れ防止機能を標準搭載し、医師だけでなく、看護師や事務スタッフにも配慮した使いやすさを追求しました。

### ハイブリッド型電子カルテ

操作性を追求した電子カルテで診療をスピーディーに

クラウドの利便性とオンプレの機能性を両立したレセコン一体型電子カルテシステム。カスタマイズと多様な機器連携でスピーディーな診療を実現。クラウドでクリニックの安全を守りながら、デバイス&ロケーションフリーなカルテ利用が可能になります。

## ■ 病院領域

### 一般中小病院向け電子カルテ

## Open-Karte Cloud

フレキシブルな運用をサポートするクラウド型電子カルテ

直感的に扱いやすい視認性・判読性が高い画面表示と充実したサポート体制で医療DXを支援。手軽に導入可能なWebベースシステムで端末選びや院外利用の自由度が大幅にアップ。コストとリスクを軽減したクラウド型カルテシステムです。

### レセプト院内審査支援システム

## べてらん君 collaboration Plus<sup>+</sup>

高速処理で診療報酬請求業務を効率化するレセプト院内審査支援システム

レセプト電算ファイルを読み込み、指定条件に応じ自動確認。レセプト1万件を約8分間で処理<sup>\*1</sup>、添削・エラー内容などの確認結果も見やすく表示、目視点検の作業負担や時間軽減とともに、より重点的にチェックすべき目の見える化にも貢献。

## ■ 薬局領域

### 地域中核保険薬局向けハイブリッド型電子薬歴

## PharnesX Hybrid Cloud

薬局の医療DXを加速し安定した経営を実現

レセコン・電子薬歴・生成AI薬歴入力支援サービスをパッケージ化。場所を選ばず薬歴の入力・参照ができ、効率的な薬歴管理と服薬指導が可能。クラウドとオンプレのいいとこ取りのハイブリッド型で、業務継続安定性と手軽さを両立。

### ハイブリッド型電子薬歴

## Pharma-SEED EX

薬局業務と経営を両面からサポート

クラウドサービス Pharma-SEED Link II との組み合わせで、オンプレミス型、クラウド型双方のメリットを活かしたさまざまな業務スタイルを実現。豊富なデータベースを備え、調剤業務の効率化を支援します。

## ■ ウェルネス(未病・予防)領域

### 特定保健指導支援システム

## Wemex 保健指導システム

指導者と対象者の双方を支援し、特定保健指導の成果につながるシステム

初回面談から請求データの作成まで、保健指導の管理業務にかかる工数を短縮でき、継続的な健康づくりと疾病予防を支援する効果的なコミュニケーションをサポートします。

### 健診事務代行サービス

## Wemex 健診代行

企業・健康保険組合の業務負担を軽減する健診事務代行サービス

健康診断の運用設計から、申込手続き、結果回収まで、最適な健診の提案および事務処理を一括で代行。全国約3,000(2024年度)を超える健診機関・医療機関と提携しています。

\*1 OS:Windows® 10(64bit)/CPU:Intel® Core™ i7-7700 3.60GHz/メモリ:8.00GBの動作環境で初期設定状態にて測定した場合。「処理」はチェック実行からチェック結果までを指し、ファイル読み込みおよびオペレーションにかかる時間は含まれません。



## モダリティに応じた評価方法で、 研究開発の目的に応じた分析技術 でサポート

メディフォードは、試験の受託実績による豊富な経験で培われた試験の信頼性と高い分析技術を掛け合わせ、創薬の探索フェーズを含む基礎研究から臨床試験までの研究開発を支援します。

非臨床試験の信頼性を確保するための基準であるGLP<sup>\*1</sup>に適合した受託試験機関として、医薬品や再生医療等製品などにおける非臨床試験受託サービスを行っています。また、高度な分析技術をもって体内に投与された薬物の濃度やがん、神経変性疾患、感染症等の疾患に関する生体中バイオマーカーの測定などを提供するバイオアナリシスサービスと、臨床試験での検査にかかわる一連のプロセスをサポートするセントラルラボサービスを提供します。

研究開発の各ステージに対応した分析技術と国内外の製薬企業・分析ラボラトリー向けサービスを通じて、多様化する新規治療法(モダリティ)の発展に貢献します。

<sup>\*1</sup> GLP: 医薬品の安全性・信頼性を確保するための基準



### 非臨床試験受託サービス

最先端の分析技術とGLPなどの信頼性基準に適合した施設により、  
医薬品開発と化学品分析の多彩な試験に対応

製薬・食品等の民間企業をはじめ、官公庁やアカデミア向けに、医薬品、再生医療等製品、医療機器、農薬、化学物質、化粧品などの基礎研究から安全性、薬効薬理、及び薬物動態に対応する試験メニューに対応しています。安全性においてはマイクロサンプリングにも取組んでおり、薬効薬理では約200種類の疾患モデル動物をラインナップしております。患者さんの生体内により近いPDX/PDC<sup>\*2</sup>などの独自の創薬支援技術を通じて、革新的な医薬品の開発をサポートします。

<sup>\*2</sup> PDX: ヒトのがん組織を免疫不全マウスに移植した組織片  
PDC: 患者由来の細胞株



### バイオアナリシスサービス

GLPに適合した施設にて、多様化するモダリティに対応した幅広い分析手法で、研究・開発を支援

生体試料中の薬物やその代謝物、バイオマーカー等の分析法開発から分析法バリデーション、実検体の測定を実施します。細胞特性の解析や遺伝子解析、組織的な空間解析を含む多様な手法を取り入れ、新規モダリティの研究・開発における各フェーズに合わせた分析サービスを提供します。また、血液中からのDNA/RNA<sup>\*3</sup>の抽出やPBMC<sup>\*4</sup>分離等のサービス提供や、治験や臨床試験で採取した貴重な生体試料を将来の活用のために長期保管にも対応しています。

\*3 RNA：リボ核酸

\*4 PBMC：末梢血単核球



### セントラルラボサービス

臨床研究における検体回収から結果報告まで、一連のプロセスをサポート

全国の医療機関で実施される臨床研究（治験・臨床試験）に必要な採血管やチューブ等の資材提供から検体回収、一括検査、結果報告まで一連のプロセスをサポートします。各工程は専用システムを用いた運用を行っており、資材の使用期限確認や検査結果をシステム上で確認できるサービスや、検体ごとに最適な環境で輸送、保管に対応し、高品質の検査データを正確かつ迅速に提供します。海外ラボのネットワークを通じて国際共同治験にも寄与するなど、医薬品開発のグローバル化にも対応します。





## 精緻ながん診断技術の進化で、 人々のより豊かな生活に貢献

エプレディア (Epredia) は、社名の由来である「Enhancing Precision (Cancer) Diagnostics (精密ながん診断を向上させる)」の理念のもと、がん診断の初期段階における解剖病理学分野で業界をリードしてきました。スライドガラスや染色試薬から自動包埋装置、ホールスライドデジタルスキャナーに至るまで、ラボ全体のワークフローを支える精緻な技術に基づいたソリューションを提供しています。

確かなトレーサビリティ、効率化された標本作製、デジタル化、そしてネットワーク連携を通じてすべての精密検査をより高度なレベルへと導きます。

私たちの製品には、人々の生活をより良くするために革新的で精緻ながん診断を支えることに取り組んできた、従業員たちの想いが込められています。



## デジタルパソロジー\*

### 病理検査の現在と未来に貢献

がん症例の増加や診断の複雑化に伴い、病理検査室はプロセスの迅速化とコスト削減の課題に直面しています。エプレディアでは、病理医の業務効率と処理能力を大幅に向上させる幅広いデジタルソリューションを提供し、効果的ながん診断を支援しています。1日最大1,500枚の組織サンプルを高解像度でデジタル化できるホールスライドイメージングデジタルスキャナーや、研究室や業界を問わず連携可能なソフトウェアシステム、組織試料の保存が可能な自動化された組織マイクロアレイなど、受賞歴のある幅広いデジタル病理ソリューションを展開しています。また、AIを活用した画像解析ソリューションでがん診断のさらなる精度向上に貢献しています。

\* 一部はグローバル取り扱い製品

## 自動包埋装置 (ティッシュプロセッサ)

### 診断の信頼性を支える基盤

自動包埋装置は、安定した性能と短縮された処理時間により、高品質な組織試料を提供します。実証済みのプロトコルと専用の消耗品の活用によって、病理医の利便性を向上するとともに、組織試料の連続処理における一貫性を強化します。さらに、独自の傾斜チャンバーや低温処理を可能にする自動浸透包埋などの機能により、ゲノム時代の複雑な診断に対応した高品質な試料作製を実現します。



## ミクロトームと凍結切片作製装置 (クリオスタット)

ミクロトームは、医療や製薬分野の研究室で、豊富なアクセサリを活用し、診断や検査の準備として組織標本を簡単かつ精密に薄切化できるよう設計されています。また、クリオスタットは、薄切標本の仕上がりを左右するブレードの温度制御や作業時に上下動を可能にする機能を備え、迅速で正確、安全な操作を可能にし、高品質な結果を快適かつ効率的に実現します。

## 高品質・高性能な病理学用消耗品

業界でも高水準の品質性能、精度、そして優れた価値を兼ね備えています。標準化が求められている臨床検査環境において、必要とされる基準を提供します。スライドガラスは、光学的にも最高レベルの透明度を実現し、よりの確な診断を可能にします。また、細胞診染色は、使いやすさや高い透明度と費用対効果を兼ね備えています。

## スライドガラス



## 細胞診染色



\* グローバル取り扱い製品(日本以外)



## レーザースライドプリンター とレーザーカセットプリンター

組織・骨試料を載せるスライドガラスやカセットに、詳細な識別情報を直接印字記載することで、試料のトレーサビリティ機能が向上するよう設計されています。エプレディアの精緻なレーザー印刷技術は、プリンター内でのスライド移動やダウンタイムを最小限に抑え、トレーサビリティ向上と検査室の業務効率化を実現します。また、幅広いワークフローとの統合にも対応しています。



## 卓越した技術と品質で、世界最先端の ライフサイエンス研究と次世代医療の 発展を支援

卓越した冷凍保存・培養制御技術やバイオセンシング技術、試薬開発力などを活かして、高品質かつ高付加価値な製品を提供しています。試料の長期保存や細胞培養に欠かせない研究医療支援機器をはじめ、細胞・遺伝子治療 (CGT) 領域に向けた新たなソリューション、さらには、診断機器や検査・分析装置など多様な製品を通じて、ライフサイエンス研究における高度化と効率向上、ならびに医療現場における高精度かつ迅速な診断を支えています。

近年のがん患者数の増加や個別化医療を含む先端治療法の進展を背景に、私たちは、よりの確かつ早期で簡便ながんの診断と先端治療の早期普及の実現を目指しています。診断の効率化・高精度化、細胞医薬品製造における生産性向上や治療・製造コストの低減といった課題の解決に向け、新たなソリューションの開発に取り組んでいます。

### LiCellMo™



### ライブセル代謝分析装置「LiCellMo™」

独自の高精度In-Lineセンサーにより、細胞の連続的な代謝変化を可視化。がんや幹細胞などの研究を支援

培養中の細胞が増殖・分化をするために取り込むグルコースと、その過程で産生される乳酸を、リアルタイムかつ連続的に測定することで、培地の一部を定期的に採取することなく、経時的変化が把握できます。さらに、細胞代謝メカニズムを解明し、細胞および遺伝子治療製品の製造プロセス開発における細胞培養の再現性と品質の向上を目的に設計されています。従来手法では得られなかった新たな知見の獲得が期待できます。

### LiCellGrow™



### 自動培養装置「LiCellGrow™」

代謝変化を可視化するIn-Lineセンサーの値に基づき、自動で培地を交換。細胞の培養環境を常に最適化し、製造プロセスのQCD改善に貢献

細胞医薬品の製造手法において従来手法では課題があった、製造プロセスや細胞特性の不均一性による不安定な品質の改善に着目。In-Lineセンサーによりリアルタイムで代謝をモニタリングすることで、無菌性を維持しながら細胞の代謝状態に応じて自動培養制御を行います。細胞代謝状態の定量化を可能にし、製造プロセスの効率と安定性の大幅な向上が期待できます。



### ノンフロン薬用保冷庫・薬用冷蔵ショーケース

正確な温度制御により医薬品の品質管理に貢献

庫内の温度分布の均一化を高め、安定した保存環境を実現し、医薬品や試料の品質を長期的に維持します。また、独自技術による優れた省エネ性能で消費電力量を低減、温室効果ガス削減に寄与します。



### ノンフロン超低温フリーザー

業界トップクラス\*1の省エネ性能と高いユーザビリティで研究を支援

サンプルや検体保存に大切な温度安定性を独自制御技術で実現します。開けやすいハンドル設計、霜低減機能などユーザビリティにもこだわり、研究を支援します。さらに業界トップクラスの省エネ性能でお客様のESG対策にも寄与します。

\*1 ENERGY STAR 認証取得



### CO<sub>2</sub> インキュベーター

独自の加湿制御機能と汚染防止機能により、細胞の培養効率と再現性向上

温度、湿度、CO<sub>2</sub>濃度を精密に制御することで、細胞培養環境の安定性と迅速な環境復帰を実現し、効率的で生産性の高い研究をサポートします。また、汚染防止を徹底した設計により、大切な培養細胞やサンプルを汚染リスクから守ります。



### IoTラボ管理ソリューション

大切なサンプルを保存するラボ機器を一元監視・管理

保存・培養機器と接続し、機器の稼働データをリアルタイムにクラウド連携し監視・管理します。品質管理の質向上と、施設管理者の業務効率化に貢献します。また、ヘルスチェック機能を使用することで、機器の状態把握が可能になります。

### 自動錠剤包装機

調剤過誤低減と業務効率化を支援

患者さんへの処方箋に基づき、必要な錠剤を自動的にカウント、払出し、一包化します。調剤過誤の低減と業務効率化を支援し、薬剤師の皆さんがより多くの時間を服薬指導などの医療サービスに充てることを可能にします。



### 適温配膳車「デリカート」

配膳食の適温管理と配膳業務効率化を実現

パワーアシスト走行と抜群の操作性で配膳業務負担を軽減します。温かい食事と冷たい食事を同時に運ぶことができます。



## 診断機器

### 精度・信頼性の高い検査データを提供

心疾患や敗血症、性腺関連マーカーなどの分析に使用される移動式免疫発光測定装置は、高感度で迅速な測定を実現します。合成基質法、凝固時間法、ラテックス凝集法を一台で測定するコンパクト設計の全自動血液凝固検査システムや、化学発光酵素免疫測定法を用いる全自動臨床検査システムも展開し、救急病棟から大規模な中央検査室まで多様なニーズにお応えします。



移動式免疫発光測定装置



全自動血液凝固検査システム

## 診断薬

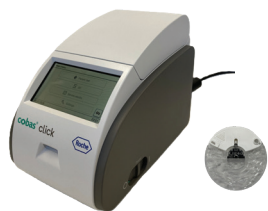
### 高度な検査性能を持つ試薬を展開

血液凝固・線溶分野をはじめ、血液中の成分を測定する体外診断用医薬品（診断薬）を幅広く展開しています。自社装置専用の試薬や、他社の自動分析装置に対応する汎用試薬の他に、インフルエンザウイルス、新型コロナウイルスなどを検出できるイムノクロマト試薬を通じて迅速で簡便な検査に貢献しています。



# 診断・ライフサイエンスOEMパートナーシップ

卓越した技術力で協業パートナーをサポート



## POC生化学分析装置

※HbA1c、脂質およびCRPを測定  
納入先:ロシュ・ダイアグノスティックス社



## 呼気一酸化窒素測定装置

納入先:NIOX社



## 電動式医薬品注入器

納入先:JCRファーマ株式会社



## 電動式医薬品注入器

納入先:ファイザー社



## 電動式医薬品注入器

納入先:帝人ファーマ株式会社



# サステナビリティへの取り組み PHCグループは豊かな社会づくりに貢献します

PHCグループは、優先的に取り組むべき11の重要課題(マテリアリティ\*)を特定し、グループ一丸となって、サステナビリティに取り組んでまいります

## 環境

「気候変動への取り組み」「省資源化による環境への配慮」「サーキュラーエコノミー社会の推進」の3つのマテリアリティに重点を置き、2040年までにカーボンニュートラルを目指しています。2025年6月に、国際的な気候変動イニシアティブ Science Based Targets initiativeより、当社の温室効果ガス (GHG) 排出量削減目標に対し、Near-Term Science-Based Targetの認定を取得しました。

## 社会

高品質で最先端の製品を提供することで、新規治療法の開発や医療の質の向上に貢献します。また、新興国や途上国での市場拡大を通じて、医療アクセスの改善にも取り組んでいます。サプライチェーンの強化やそれに関わる環境や人権への対応も重要課題と捉えており、責任ある調達と供給責任の遂行に努めています。

## ガバナンス

持続的な成長と企業価値の向上を目指し、コンプライアンスとリスクマネジメントをマテリアリティに特定しています。法令順守と倫理的行動を徹底し、リスクの早期発見と適切な対応を通じて、ステークホルダーの皆さまの信頼を確保します。

\* [www.phchd.com/jp/sustainability/materiality](http://www.phchd.com/jp/sustainability/materiality)



健康は、人々の人生において何よりもかけがえのないもの。  
より良いヘルスケアを、患者さんが選択できるために。  
PHCグループは、研究・医療機器、ヘルスケアITソリューションを世界各地で展開しています。  
めざすのは、高品質な医療を、誰もが身近に享受できる未来の実現。  
わたしたちの強みである精緻な技術を基盤に、医療従事者や研究者の皆さんと共創し、  
健康を願うすべての人々のために、ヘルスケアの未来を切り拓いていきます。





**PHC**  
GROUP

詳しくはホームページをご覧ください  
[phcd.com](http://phcd.com)



2026年4月発行